

保存協議会各部会の委員が決定しました

今年度から新たに「施設運営部会」と「まちなみＩＴ部会」が編成されました。「まちなみ整備部会」と「まちなみ瓦版編集部会」は前年度に引き続き活動を行います。以下各部会の委員と活動内容を紹介します。

施設運営部会

北町保存協議会	北浜町保存協議会	北中町保存協議会	北鍛冶町保存協議会
太田 庄輔	若狭 幸子	上野 貞代	大浦 正博
赤田 幸太郎	上野 敏代	金野 桂子	神谷 邦彦
上野山 実	新網 恒弘	竹中 宏	白子 順子
加納 誠		藪本 良雄	竹林 倫子
松下 昇			道津 節子

★活動内容： 甚風呂、北の町老人憩の家など拠点施設の整備や運営に関する協議を行います。

まちなみＩＴ部会

北町保存協議会	北浜町保存協議会	北中町保存協議会	北鍛冶町保存協議会
土岐 康男		木下 智之	吉村 研 (特別委員)

★活動内容：ホームページの制作運営などインターネットを用いたまちなみの情報発信を行います。

まちなみ整備部会

北町保存協議会	北浜町保存協議会	北中町保存協議会	北鍛冶町保存協議会
加納 芳明	堀尾 哲夫	木村 順子	三橋 雄作
蔵野 博文	小川 光雄	陣座 優	藪野 博孝
酒井 弘雄	出原 美男		吉本 博一
竹中 健時	宮井 美宏		
見矢 義夫			

★活動内容：伝建地区内の住環境整備や景観の保全に関する協議を行います。

まちなみ瓦版編集部会

北町保存協議会	北浜町保存協議会	北中町保存協議会	北鍛冶町保存協議会
楠山 吉雄	半邊 宗五	妻木 禎子	齋藤 春太郎 (特別委員)
都築 豊			

★活動内容：隔月に発行されるまちなみ瓦版の編集を行います。

今年度は、上記４部会の活動を行う予定です。各部会の進捗状況等につきましては、部会開催後、保存協議会会議で報告し、まちなみ瓦版を通じて皆様にお知らせいたします。

また、まちづくりを進めるにあたり、地区の皆様のご意見をもっとお聞きしたいと思っておりますので、ご意見・ご要望等ございましたら、遠慮なく担当委員までご連絡ください。

湯浅伝建地区保存協議会

今年度のまちなみ瓦版の発行が遅れましたことを心からお詫び申し上げます。まちなみ瓦版に皆様のご要望などを掲載していきたいと思っております。ご意見・ご要望などございましたら、保存協議会委員まで連絡をお願いします。

編集委員
楠山 吉雄
都築 豊
半邊 宗五
妻木 禎子
齋藤 春太郎(特別委員)

まちなみ瓦版

■平成２４年９月１日

■第１２号

■発行：湯浅伝建地区保存協議会

■発行責任者：木下 智之

岡正へいらっしゃい！まるとも海産 岡正店をよろしく!!

町なかのにぎわいとまちづくりの拠点施設とするため、町が伝建地区休憩所岡正の貸し出し先を公募し、選考の結果、田地区の『まるとも海産』が選ばれました。新鮮な海産物を中心に柑橘類や野菜類も販売しています。

開館日時：金・土・日曜、祝祭日
午前１０時～午後５時

販売物品：湯浅名産の釜揚げしらす・ちりめん
柑橘類、野菜類

電話番号：６３－１５１５



「これからは、しらすだけでなく、柑橘類などの種類も増やしていきたいと思っています。これまで通り観光案内所や休憩所としてもご利用いただけますので、気軽にお立ち寄りください。」
(まるとも海産 岡正店)

湯浅伝建地区の現地指導が行われました

５月３１日(木)から６月１日(金)にかけて文化庁の島田敏男主任文化財調査官が湯浅伝建地区の現地指導に来られました。

平成２３年度に補助事業が行われた建造物の検査や、平成２４年度に事業を実施する修理・修景物件の確認など実際に現地を回り、修理方法等について町の担当者や設計士会のメンバーが指導を受けました。



湯浅の町並みが国の『重要伝統的建造物群保存地区』に選定されてから６年目に入りました。この間、こうした国や県の支援を受けて、建物の修理・修景事業が進んできました。

これからも町並みの歴史的価値を失われないようにし、魅力的なまちにしていきたいものです。

保存協議会施設運営部会を開催しました

日 時：平成24年6月12日（火） 午後7時30分～午後9時00分

場 所：北の町老人憩の家2階

出席者：12名

【議題】

（1）北の町老人憩の家の模様替えについて

現在の北の町老人憩の家は、従来の憩の家の機能に加え災害時の避難施設として、また観光客のトイレの増設を目的として建て替えられています。完成後、住民の中からもっと有効活用できないかとの意見が出されていたため、町と協議し、来訪者の受け入れ施設としての機能を充実させることを検討してきました。

今回の会議では、住民が憩の家を使用する際の利便性を最優先するべきで、地区の集会所や避難所、選挙の投票所など本来の機能を損なわない範囲での活用が望ましいとの結論が出ました。そこで、歴史年表や絵図、古写真などのパネルを壁に掛けて展示する方法で、来訪者が見学できるように模様替えすることになりました。



大仙堀



湯浅湾



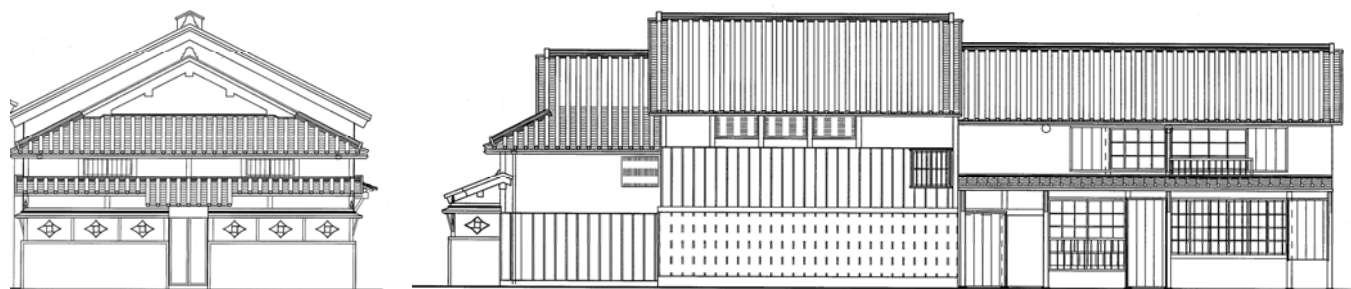
醸造元分布図

（2）甚風呂の運営について

現在、甚風呂は国の雇用制度を活用して町が運営しています。制度が終わる来年度以降の在り方について町から意見を求められました。

甚風呂は歴史民俗資料館として無料で公開されていますが、観光客だけでなく町内外の小学生が社会見学に訪れたり、琴の演奏会や紙芝居をしたり、近所の人たちがおしゃべりしに來たりと地域に溶け込んだ活用がなされています。もし民間企業に運営を任せると町民が気軽に立ち寄れなくなり、有料化されて利用者が減るのではないかという懸念もあります。

今の形態で町に運営を続けてもらいたいのですが、財政的な面で入場料の検討も必要ではないかと話し合われました。引き続き協議していきます。



まちの話題

豆わらじ作り体験教室を開催しました

6月16日(土)・30日(土)は甚風呂で、7月30日(土)は北の町老人憩の家で、それぞれ豆わらじ作り体験教室を開催しました。総勢24名が参加し、みなさん一生懸命豆わらじ作りに励んでいました。

体験教室の流れとしては、まず、参加者は豆わらじの作り方を解説したDVDを視聴し、その後、保存協議会の木下会長やボランティア指導者の西岡富子さんから手ほどきをうけて、昔ながらのわらじの作り方そのままに、自分だけのオリジナル豆わらじネックストラップを作ってもらいます。



甚風呂での体験教室の参加者は、「広報ゆあさ」に掲載した参加募集の記事を見て応募された方々でした。



北の町老人憩の家での体験教室では、湯浅町中学生海外派遣事業に参加する湯浅中学校の生徒たちを対象に、ホームステイ先であるニュージーランド ケリケリ町の方々へのお土産用の豆わらじを作りました。生徒のみなさんは、初めての豆わらじ作りに苦戦しながらも、自分たちがお世話になるホストファミリーのために一生懸命取り組んでいました。

これからも豆わらじ作り体験教室を続けていきたいと思います。教室の開催は、「広報ゆあさ」などでお知らせしますので、興味のある方は、お気軽にご参加ください。